

1. 大学生の勉強方法

- ・ 高校生までの勉強方法との違い

「生徒」…インプット（言われたことをこなして身に付ける）

「学生」…インプット+アウトプット（主体的に問題を発見し、自分の頭で考える）

- ・ アウトプットの重要性

事例：Xは、インターネットを通じてPCショップYにおいてノートパソコン甲を購入した。甲の到着後、電源を入れて操作を試みたが、電源が落ちたり再起動を繰り返すなどうまく動作しないことが分かった。そこでXは直ちにYに対し、甲に不具合があるので修理または交換をしてもらいたいと告げた。ところがYは甲に問題はないと言い張り、修理や交換には応じないと返答した。Xは何とか甲の修理や交換を請求したいと考えている。Xの請求は認められるであろうか。

- ①問題となっているテーマは何か？

→追完請求権（民法562条）

- ②その解決方法を理解しているか？ —インプット

→追完請求権が成立するための条件（562条などを参照してください）

（1）目的物が契約の内容に適合しない（契約不適合がある）

（2）不適合が買主の責めに帰すべき事由によるものではない

（3）不適合について発覚後1年以内に売主に通知した（566条）

- ③あてはめ—アウトプット

（1）甲がうまく動作しない（電源が落ちる・再起動を繰り返す）

（2）動作しない原因はXの誤った扱い・操作などではない

（3）XはYに甲の動作不良（契約不適合）を通知した

※あてはめの前に、「解釈」が必要になることもあるので注意しよう

e x. 契約不適合とは何か？責めに帰すべき事由とは何か？など

- ・ アウトプットの練習方法

資格試験にチャレンジしよう！

2. 資格をとるための準備

- ・ 法学検定
 - ベーシックコース…法学の初学者が知っておくべき基礎的なレベル
 - スタンダードコース…法学を専門的に学習する者が修得すべきレベル
 - アドバンストコース…法学を学ぶ者が目指すべき上級レベル
 - 法曹を目指せるレベル・企業や官公署等で法律実務を担当できるレベル
- ・ 公務員採用試験（県庁や市役所など）
- ・ 警察官採用試験
- ・ 司法試験

3. 法学研究所研修講座の使い方

- ・ 授業の予習や復習として
 - 繰り返し学ぶことで、基礎的な知識がしっかり身に付く！
- ・ 定期試験対策として
 - 大学の定期試験は、ほとんどが論述問題→答案の書き方が学べる！
- ・ ダブルスクールとして
 - 公務員試験・各種資格試験・ロースクール進学対策になる！
- ・ 演習の場として
 - 板橋の研修講座では、講師の先生方と議論しながら学べる！
- ・ 自習室の利用として
 - 研修講座を受けている学生のみ、自習室（受講生専用の机やロッカー）が使える！

5. 法学研究所の講座

- ・ 東松山研修室の講座は基本的に5限（16：45～18：15）で実施

※東松山研修室講座の開講曜日

月…憲法、行政法 水…刑法 木…民法Ⅱ 金…民法Ⅰ、法学検定対策

☆法学検定試験対策講座について

→法学検定試験対策講座はオンライン・オンデマンドで実施されます。また、今年度からは法学検定試験対策講座のみ受講できるコースを設けました。1年生のときに研修講座を一通り受けたが、引き続き資格試験対策をしたいという2年生におススメです！もちろん

んこのコースでも研修室の利用ができます。

6. 研修講座と学部の講義が重なってしまっている場合は？

→研修講座は 5. で紹介したように特定の曜日の 5 限に実施されます。しかしクラスと曜日によっては 5 限に学部の講義が入ってしまっていて履修できないという事態もあります。そのような場合、クラス変更手続きをすることで履修する講義を変更し、空いた時間で研修講座を受講することもできます！

※ただし、勝手な履修変更はできません。必ず履修相談で必要な手続きをしてください！

以上です